



**自分の体力年齢を知る
 新体力テストを実施**

7月9日④に川上小学校の体育館で実施され、16人が参加しました。握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、シャトルラン、立ち幅とびの6種目のテスト項目があり、参加者は、自分の体力の限界と向き合いながら一生懸命取り組みました。家族と一緒に参加した南條匠海さんは、「シャトルランはとて疲れたけど、どの種目も楽しかったです」と笑顔を見せました。

**特定健診で血管年齢を測定！
 健康意識の向上にかかる三者協定**

市の特定健診の際に、フクダ電子（株）から提供いただいた血圧脈波検査装置を用いた血管年齢の無料測定を行い、健康意識の改善や事業の効果検証を愛媛大学が行います。愛媛大学の宮崎助教授は、「市の特定健診受診率は、県内17位と低いです。特定健診は、大きな病気につながる動脈硬化や生活習慣病の早期発見につながるので、受診率向上が重要です」と説明がありました。



**スポーツで深まる地域の絆
 東温市民バレーボール大会を開催**

第16回東温市民バレーボール大会を市内5会場で開催しました。9人制バレーボール（1部）と6人制レクリエーションバレーボール（2部）に分かれ、年齢を問わず、楽しく交流しながら汗を流し、地域の絆を深めました。

優勝されたチームの皆さん、おめでとうございます！

- 1部女子…南方東
- 1部男子A…南方東
- 1部男子B…南方西
- 2部A…河之内B
- 2部B…志津川A
- 2部C…則之内東
- 2部D…町西



1部男子A 田窪 vs 志津川



アタックを決める北方東



円陣を組んで気合いを入れる



ナイスプレーを称え合う



2部C 決勝で熱戦を繰り広げた則之内東と志津川B



**世界に一つだけの自分の勾玉づくり
 令和6年度れきみん講座**

れきみん講座「勾玉をつくってみよう」が開催され、親子5組が参加しました。型を使って、石にサインペンで勾玉の形を書いた後、紙やすりで丁寧に削ったり、磨いたりして勾玉を作りました。参加した太田瑞葵さんは、「今日は、道具を使い2時間ほど楽しく勾玉を作りましたが、昔の人は道具もなくて、削るのはとても大変だったんだろうなと思いました」と感想を話してくれました。

**美しい音色がホールに響く
 東温市民吹奏楽団のコンサート開催**

川内公民館で東温市民吹奏楽団サマーコンサート2024が開催されました。第1部のアンサンブルステージ、第2部の吹奏楽ステージで、バラエティ豊かな選曲が奏でられました。会場を訪れた人からは、「毎年コンサートにきていますが、今年の演奏も素晴らしかったです。特に、ジブリと日本の情景【夏】の演奏がとても良かったです」と心動かされた様子でした。





**自然いっぱい! 絶好の虫取りスポット
 重信川かすみの森公園でとことこクラブ**

小さな子どもたちのおさんぽ会「とことこクラブ」が行われました。ニイニイゼミの鳴き声が響く重信川かすみの森公園で、大人も子どもも夢中になってゼミの抜け殻やアメンボ、トンボ、バッタ、カブトムシなどを捕まえました。
 次回のとことこクラブは、9月11日☎に開催します。秋になり、大きく育ったバッタが見られるかもしれません。詳細は、16ページの「情報BOX」をご確認ください。

**モルックで市を元気に!
 ウェルケア重信でモルック大会**

ウェルケア重信で、「田窪モルック愛好会」を交えたモルック大会が開催されました。モルックは、木製の棒を投げて、数字が書かれたスキttlを倒し、50点になるまで競うスポーツです。簡単なルールなので、年齢等にかかわらず誰でも楽しむことができます。
 職員の皆さんのユーモア溢れる声かけで、大会は大いに盛り上がり、楽しく交流を深めました。



**上林で伝統の里神楽
 城山天満神社で夏祭り**

城山天満神社で夏祭りが行われました。神社では、地元の伝統芸能である里神楽が、太鼓の音色に合わせて披露され、見に来ていた地域の人たちからは、拍手が送られました。
 その後、上林小学校体育館で子ども相撲が行われ、たくさんの声援が送られる中、熱戦が繰り広げられました。最後は餅まきが行われ、大いに盛り上がりました。



**知らない国のことに興味津々
 南吉井小学校で留学生と交流**

南吉井小学校3、4年生が、ドミニカ共和国出身で愛媛大学農学部研究生のウリセスさんと交流しました。来日して3か月のウリセスさんは、母国の歴史や自然、食物などについて、勉強中の日本語で紹介し、子どもたちは知らないことに驚きの声をあげ、たくさんの質問をしました。最後に、ドミニカ共和国のスペイン語のジャンケンと一緒に盛り上がりました。



**地域の社会問題の解決に向けて
 市地域協働事業費補助金成果報告会**

愛媛大学地域協働センター中予が、愛媛大学教員と市内企業による産学連携の取組4件と、市内地域と連携した教育推進の取組2件について報告を行いました。また、各企業代表者との意見交換が行われ、「若手技術者の就業・人材育成は喫緊の課題であり、市の地域活性化につながる成果を生み出すためにも、引き続き継続的支援をお願いしたい」と意見が出ました。

**熱中症からカラダを守ろう
 熱中症対策商品等の寄贈**

大塚製薬(株)との包括連携協定に基づき、熱中症対策のポスターやプリント、ポカリスエットが市内7か所のクーリングシェルターに寄贈されました。大塚製薬(株)の門屋薫乃さん(写真右)は、「経口補水液は、熱中症になったときの応急処置用の飲み物です。普段の予防としては、スポーツ飲料を飲んでください。飲み分けをきちんとすることが、熱中症対策には大切です」と教えてくれました。

